

鍋屋上野浄水場

おいしい水が 私たちの元に届くまで

じゃ口をひねれば出てくる便利な水道水。とても身近であり、生活になくてはならない水がどのようにつくられているのかを知っていますか。名古屋市初の浄水場として誕生した、鍋屋上野浄水場の歴史や役割を取材しました。



24時間体制で稼働する鍋屋上野浄水場。市内各所にある配水場・ポンプ場についてもコンピューターで集中管理し、配水池の貯水量や配水圧の調整をしています

先見の明が生んだ 名古屋のおいしい水

大都市にも関わらず、おいしいと評価の高い名古屋の水道水。過去に名古屋は、厚生省（現厚



名古屋上下水道局の高坂健治さん。「おいしい水道水の供給には、水源を守ることが不可欠。市民に、木曾川や流域の森林の保全を心掛けていただけたらうれしいですね」と話します

生労働省)の「おいしい水研究会」が発表した、「水道水のおいしい都市(人口10万人以上)」に選出されています。また、市政世論調査でも、「名古屋の誇れるところや良いところは」という問いに、2006年から2011年度まで、「水道水がおいしい」という回答が2位になるほどです。

名古屋の水道水がおいしい理由は、木曾川の水を引いているから。「木曾川から水を引き浄水場で浄水してから、各ご家庭においておいしい水道水をお届けしています」と、名古屋市上下水道局の高坂健治さんは話します。木曾川からの給水開始は

1914(大正3)年。今年は名古屋市の水道給水開始100周年にあたります。水道が布設されていない時代、人々は井戸水を汲んで飲んでいました。しかし明治維新以後、国内で人口が増加。畑は宅地になり、糞尿を肥料として利用する場が減りました。生活排水が井戸水を汚し、次第に不衛生な環境に。全国でコレラや伝染病が流行してしまいました。1891(明治24)年には濃尾地震が発生。防火用の水が不足した経験からも、水道の重要性が認知されるようになりました。

そこで名古屋市では、英国人技師バルトン氏に調査を依頼



上) 自然生物の浄化作用を利用した緩速ろ過池。創設当時は8池が造られました
下) 昭和初期、緩速ろ過池が14池に増設された様子

かし、牽引した人々の先見の明と決断により、人口が増加しても断水することなく、「水がおいしい」といわれる名古屋の水道が整ったのです。

スピーディー&エコが両立 広大な鍋屋上野浄水場

木曾川からの給水開始と同時に、市内で初めての浄水場として誕生したのが、鍋屋上野浄水場です。現在、その広さは、13万7325平方メートル。敷地内には、給水開始当初から1992年まで使用されていた旧第一ポンプ所が残っています。19世紀のイギリスで流行したク

イーン・アン様式で、2012年には市の有形文化財に指定されました。

鍋屋上野浄水場で1日あたり給水される水道水は、25メートルのプールの約800個分です。犬山取水場から導水管を通ってきた木曾川の水(原水)は、浄水場内のろ過池でろ過をした後、ポンプで圧力をかけて配水場へ送水されます。その後、東山配水場を経由して各家庭に水道水が供給されます。

場内では急速系と緩速系の2種類のろ過方法を採用しています。急速系では、凝集沈殿池で薬品を使って原水の濁りを吸着。沈んだ後、急速ろ過池で砂と砂

利の層に通してろ過。緩速系では、緩速ろ過池で微生物や砂と砂利の層に水をゆっくりと通します。100年前から使用されている緩速ろ過は、薬品を使用せず自然生物の浄化作用を利用。急速ろ過に比べ時間はかかりますが、木曾川の良質な水源水質を生かしたろ過方法です。今年中の運用開始を目指し、新たな緩速ろ過池の整備も進められています。

「なごや水フェスタ」で 水道水を味わおう!

現在、名古屋市上下水道局では、「日本一おいしい水プロジェクト」を進行中です。



■ 雰囲気たっぷりの旧第一ポンプ所
■ 赤レンガの壁に白い石材をあしらって開口部を強調したデザインは、19世紀イギリスのクイーン・アン様式で。旧第一ポンプ所は、市の有形文化財に指定



水道創設当時の技師長である上田敏郎氏。鍋屋上野浄水場のロビーには、上田氏の名が刻まれた石碑(レプリカ)など、名古屋市の水道布設の歴史を残す資料が展示されています

浄水場施設見学ツアー、水のアトラクションや実験教室、キャラクターショーなど、子どもから大人までが楽しめる内容です。

「水道水は、冷やして飲むのがおすすめ」と、名古屋市上下水道局の田中知佳さん。「一度沸騰させたりレモン汁を入れて塩素臭を抜いてもおいしいと思います。その際は早めに飲み切ってくださいね」



来場者においしい水道水の ボトル缶をプレゼント

info

第56回なごや水フェスタ

開催日時/2014年6月1日 9:30~15:00 雨天実施
開催場所/鍋屋上野浄水場 名古屋市千種区宮の腰町1-33
入場無料 駐車場なし
問い合わせ/052-972-3608
(名古屋市上下水道局 広報サービス課)



水中の濁りなどが沈んでいく過程がわかる、急速系の凝集沈殿池。ジグザグな造りになっているのは、水の流れを複雑にして薬品でより大きな汚れのかたまりにして沈んでさせるため

また、水源地域である長野県木祖村、岐阜県下呂市、揖斐川町などの特産物も販売。「金鱈水」と呼ばれる、水道直結型冷水機も登場するので、名古屋の水道水のおいしさを再認識してみてください。